

しいのみ園保護者会だより しいのみ

第6号

平成28年1月1日発行

社会福祉法人 心友会

しいのみ園保護者会

千葉市緑区高田町 1953-1

TEL 043-291-2941

会長 大松 初男

謹賀新年

本年も、利用者の皆様方が幸せな生活が送れるよう
頑張って参りましょう

平成28年元旦

しいのみ園保護者会役員一同



新年を迎えて！ しいのみ園は大きく変わる年に

心友会 理事長 武田 昇



新年
あけまして
おめでとう
ございます

昨年は、保護者会の大松初男会長をはじめ、多くの会員の方々に支えていただき本当に感謝申し上げます。

さて、日本の福祉も世界の先進福祉に追いつけとばかりに、今大改革を始めております。その中で、障害者福祉業界は昨年に続き今年も大変な年に成ろうとしております。しいのみ園では大変を読み替えて、「大きく変わる年」にしたいと考えております。

今年、施設の職員たちが、有資格者を目指して自己改革をして、利用者のために個々に大きく変貌する年にしていきたいと願います。私たちは利用者の思いを叶えるため、地域の方々と共に暮らしていくこと、また、更に国際社会とも連携して参ります。千葉市・千葉県・日本を代表する意気込みで、各国の支援者と手を取り合い、利用者のための安らぎの場を求めて全力で取り組んでいきたいと思っております。

昨年、保護者会の大松会長から福祉QC（クオリティコントロール）を教えていただき、限りなくケアの質の向上へ向かって歩き始めることができたこと、本当に感謝しております。また、昨年心友会理事会で承認されました地域公益活動の一環で、ふくろう屋2号店（菅田駅南口徒歩二分）の二階で地域包括支援事業としての「まちづくり支援室」を企画・計画し、今年からいよいよ開始致します。目的は、社会福祉法人としての役割を担うため、子育てサークル支援、不登校・発達障害児等の学習支援室、高齢者や障害者のコミュニティ施設の提供等、ライフステージ毎に求められる意識醸成と参加・活動に取組みます。また、一階では、お菓子作りと野菜の販売等またカフェを開設いたしますので、お近くに来たときは是非お立ち寄り下さい。

最後になりましたが、三年後にはISO（国際標準化機構）認定施設を目指して法人役員・施設職員一丸となって更なるケアの質の向上に努めて参りますので、これからも保護者会の皆様方のご支援ご協力をお願い致します。

保護者会の皆様、職員の皆様、あけまして、おめでとうございます。

今年も、利用者、職員、保護者の皆様が、健康で幸せな年でありますように、心をひとつにして、スタートをしたいと思っております。

昨年の十一月、私は職員と共に保護者を代表して、フィリピンに行き、現地の福祉の人材育成の施設および障害者福祉施設を訪問して参りました。現地の福祉状況は、日本よりはるかに遅れていることを感じてきました。同時に、しいのみ園の支援のレベルの高さを、改めて認識しました。



みんなで楽しく
元気に
にぎやかに

一年を通し、お花見、一泊旅行、夏まつり、餅つき大会、新年会などの楽しい行事の運営、また、日頃の生活では、投薬管理・入浴・整容など、健康で清潔な生活の実現。さらには、地域の友好を兼ねての地域清掃活動への参加は、利用者にとっては価値のある毎日ではないかと思っております。

さあ、本年も、みんなで楽しく、元気に、にぎやかにスタートしましょう。
(保護者会 会長 大松初男)

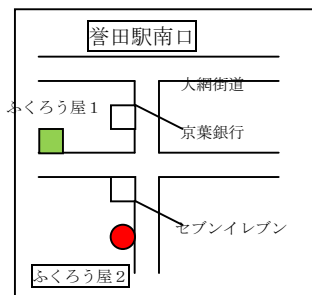
新春
特集1

社会福祉法人 心友会

地域包括支援事業の展開について

一昨年、社会福祉法人制度の改革が社会保障審議会福祉部会で審議され、昨年の四月三日に改正案が閣議決定され、その後衆議院は通過しましたが、国会審議の日程の都合で継続審議になっており、次期国会で成立の見込みとなっています。様々な視点からの改正がなされますが、その中で特に地域貢献として、「地域における公益的な取組みをする場合、無料または低額な料金を福祉サービスを提供すること」が責務として規定されることになっています。

しいのみ園としては、常々地域との交流を念頭において運営されてきましたが、今回本格的に地域福祉を包括的に支援する体制を整えること



茗田駅南口より徒歩2分



1階はふくろう屋2号



2階支援室多目的ホール

になりました。その概要は

●福祉のまちづくり支援室を開設しました。場所は茗田駅南口から徒歩二分のふくろう屋2号店の二階。

●提供を予定しているサービス

①子育て支援

子育て支援サークルの場所提供

②障害児・者支援

障害児を持つ保護者への悩みや相談を受ける体制を確保。しいのみ園保護者の経験談も貴重。

③学習支援

不登校・発達障害児童への支援

④高齢者コミュニティ

高齢者が気軽に立ち寄り、近隣住民との交流や地域活動への参加の場所を提供する。

福祉のまちづくり支援室

福谷章子支援室長に聞く



●私は、三人の子育て終了後、コミュニティ活動に関心を持ち、地域リーダーとしての活動はどうあるべきか学ぶ必要を感じ四十歳の時一念発起し、淑徳大学大学院にて家族社会学および地域社会学を学びました。その後、千葉市の市議会議員（緑区選出）を十二年間務め、昨年の五月にフリーの身になりました。

●市議会議員時代には一貫して「多世代の居場所作り」を主張し、その実現に注力して参りました。多世代とは、子ども・親・お年寄りまで、また障害者も含めた多様な世代が一同に会して気軽に交流できる場所が必ず必要なのです。行政は各々の単独世帯に関する施策は打たれてきましたが、残念ながら総合施策は打たれてきませんでした。現時点ではおゆみ野に開設された「みんなの広場」の運営に注力しています。民間の実績を見て後から行政がついてくるのが常套手段になっていったかと思えます。

●私は、しいのみ園発足当時から評議員を引き受けて参りました。しいのみ園が施設運営を乗り越えて地域福祉の一翼を担う時代がいずれ来るとは思っていました。が、こんなに早く来るとは思っていませんでした。武田理事長より「福祉のまちづくり支援室」のお話をいただいた時、持論である「多世代の居場所作り」実現のまたとない機会ととらえてお引き受けすることにしました。

●支援室の運営に当たっては大きく次の二点に留意して参ります。一つは社会福祉法人として、制度のはざままで困っている人々、例えばひきこもりや親の知識不足からくる障害児の虐待等に救いの手を差し伸べること。二つ目は地域の人たちに障害者を含む多世代の居場所作りに対する理解を得ること。

●しいのみ園の保護者会の最近の活動はよく承知しています。障害者と長年生活を共にしてきた保護者の経験は非常に貴重なものです。是非ともお手を貸していただきたいと思います。一階は間もなくコミュニティカフェが開設予定です。お茶を飲みに来たついでに二階の「福祉のまちづくり支援室」にも気軽に立ち寄り下さい。（聞き手・仙波純二）

新春 特集 2

進む！ しいのみ園の国際交流

Ⅱ 海外からの職員紹介Ⅱ

平成二十二年頃から、しいのみ園ではインターシップ制度を利用して韓国から二名、昨年からEPA（国際連携協定）に基づきフィリピンから三名が職員として、しいのみ園で就労しています。

五名の皆さんに次のようなアンケートに答えていただきました。

- ①名前 出身地（国と地域）
- ②日本でこの仕事に就こうとした理由
- ③趣味や休日の過ごし方
- ④しいのみ園で働いての感想

● 韓国から



①姜 カン
テミン 允珉

韓国
・光州市

- ②しいのみ園で研修した際に雰囲気の良いと感じ日本で仕事をしたいと思った
- ③買物、ゲーム。週末は洗濯・掃除。
- ④職員や利用者に対する園側の細かい配慮や思いやりに情熱を感じている。



①尹 ユン
スルギ

韓国
・全羅南道

- ②海外で仕事をしたいという気持ちがあり自分の世界を広げようと日本で仕事を始めた。
- ③読書、映画鑑賞、ドライブ。休日は海外ドラマを見たり、読書をする。
- ④最初は二、三年だけと思っていたが気がつけば五年が過ぎていた。今は利用者の皆様の笑顔が私の仕事への原動力になっている。

● フィリピンから



①中松 ピンキー
フィリピン

・マニラ

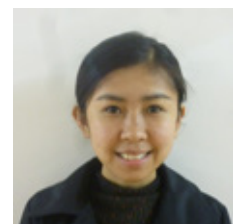
- ②EPAの関係で現地通訳として、しいのみ園の理事長や職員と知合い現在に至っている。
- ③掃除、料理。休日は娘と外出したり、ネットを通してフィリピンの家族と会話をしている。
- ④皆様のサポートで利用者の方々の事を少し理解できるようになってきた。未熟ですが頑張ります。



①バカバック・
マリア・リアン・
ガンバ
フィリピン

・レイテ州

- ②看護の資格を持っているが、自国での就職は難しく、医学と関係のある介護士として日本で働くことを自分と家族のために決めた。
- ③読書、映画鑑賞、バドミントン。休日は買物、観光地巡り、休息。
- ④来る前は小規模な印象だったが、実際は個室で設備も良く、利用者さんの権利を守り、普通に生活できる支援をする良い施設と思う。



①ピアオ・シャナ
ニー・エナゴ
フィリピン
・スリガオデル
ノルテ

- ②将来外国で介護の仕事をしたい夢があった。日本に関する良いことを聞き、日本で働くことに興味を持った。
- ③記事を書くこと、読書。休日は問題の復習、家族と会話、観光、買物、ビデオニュースを見ること。
- ④職員の援助は最高で、利用者さんの状態に合わせた活動が楽しみで、暮らしぶりも知りたい。

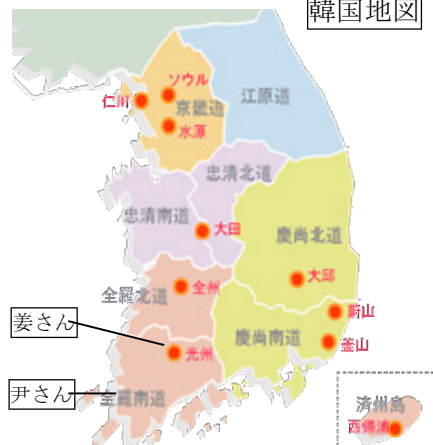
● しいのみ園のこれからの計画

フィリピンからの三名は、日本での介護福祉士の資格取得を目指し、また平成二十八年度にはフィリピンよりもう二名来日する予定です。

姜さん、尹さんは昨年日本での介護福祉士の資格を取得されました。

（文責・恒川禎子）

韓国地図



フィリピン地図



新春特集 2 (続)

武田理事長に聞く
国際交流にかける想い！

しいのみ園は外国人籍の職員が比較的多いですよね。しいのみ園としての方針とか思いとかがあるのかもしれないと思います、武田理事長にお聞きしてみました。
(聞き手 長安貴子)

●もともと私は製造関係の仕事をしていて、主にプラントの貿易をしていました。海外に行くと、必ず恵まれない子どもたちがそばに寄ってきました。

親に捨てられた子もいれば親がいない子、障害のある子もいて、それは日本とは全然違う文化圏の中の光景ですが、彼らに元気さやパワーをもらい何かしら感じさせられていた三十代でした。そして、海外に行く度に、障害者の施設を慰問していました。出来ることとしては、毎年行って物品を寄付することしかなかったのです。

●昭和六十年代、私の姪が知的障害をもっていて、施設入所を希望し、私は東京、千葉、神奈川の施設を回りました。その時感じたのは、日本の施設はどうしてこんなに閉鎖的なんだろう。「まるで鎖国状態だ」「障害者への対応

時心がなさすぎる」「障害者がびくびくしている」「職員の対応は上から目線」といったものでした。海外の施設は、確かにハード面での課題は山積していますが、海外の方は笑顔が自然で、老人や障害者にとっても思いやりがあると感じられました。そして、それぞれの国で問題はあるかもしれないけれども、みんなと手をつなぎたいという気持ちになりました。

●プラント輸出をしていた経験を活かし、障害者施設の職員と交流をしたいと思います。しいのみ園開設当時、タイの障害者施設を表敬訪問しました。また、国

対国の関係はビザの問題もありますが、友人知人が韓国にいたりすることもあり、大学の総長とも知り合う機会を得、インターシップ制度を提案することができ、行き来が開放的になったという経緯があります。この制度で二名の職員に来ていただくことができます。フィリピンに関しては、貿易関係でのつながりもあり、笑顔が良く心優しい国民性の方々を、こちらの職員として迎えたいと思っていました。丁度

その時、EPA(国際経済協力協定)のことを聞いて、三年前からコンタクトを始めたところ、やっと昨年八月に一名、十二月に、二名の職員を受け入れる運びとなりました。

●日本からも行く、向こうからも来る。そしてみんなで障害者を支援するという考え方を、同じ地球人として国境を越えて広げて生きたいというのが私の願いです。国を超えての障害者福祉の交流は、相乗効果としていろいろなところで良い変化が出ると信じています。二十七年

(参考) EPAとは

経済連携協定のこと。特定の国や地域間での貿易や投資を促進するための条約。看護師・介護士など特殊技能を持った労働力の移動も含む。フィリピンとは二〇〇五年末に基本合意に達した。二〇一二年四月現在で十三カ国とのEPAが発効している。日本は相手国からの介護福祉士候補を受け入れ、就労しながら国家検定の取得にチャレンジ。合格すれば引続いで就労が可能。

研修会①
参加報告

日本弁護士連合会
「成年後見制度」から「意思決定支援制度」へ
平成二十七年十月一日 仙波

幕張メッセで開催された第五十八回人権擁護大会シンポジウムに参加した。題して「認知症や障害のある人の自己決定権の実現を目指して」。現在の成年後見制度の問題点を明らかにし、本人の人権を尊重し、本人の意思決定を支援するためにはどうあるべきかがテーマでした。

意思決定に関する国内の活動事例や海外の動向調査の報告の後、パネルディスカッションがなされた。

弁護士先生たちの議論は難しく理解しにくかったが、要約すると、「国連の権利条約が成立したあと、世界の潮流は、本人の人権・意思の尊重に急速に動いている、現状の成年後見制度の中で、弁護士は主要な役割を負っているが財産管理面が主体で本人の意思の尊重の面では疎いところがある。このままでは置いてきぼりされかねない。何とかせねばとの危機感。保護者としては難しい議論は止めにして、今直ぐ本人と一対一で真剣に取り組んで欲しいと思った。

研修会② 参加報告

全施連第十一回全国大会IN神奈川
理事長より七つの情勢報告

平成二十七年十月二十、二十一日

報告者 田所稔寛

全国知的障害者支援施設家族会連合会の全国大会が平成二十七年十月二十、二十一日の2日間、横浜市のローズホテル横浜にて開催されました。しいのみ園保護者会を代表して大松会長および田所会計理事(筆者)が参加しました。全国から約六百名程集まり、会場に入れきれないほどの大盛況でありました。兵庫県の参加者が多いが目立ちました。

全施連ができて十年経過、これを踏まえて今回は、「知的障害のある人にとって最適な生活の場とは」というテーマが取り上げられました。全国から知的障害を持つ親などが、障害の状況、施設内の状況、その職員の仕事の内容、待遇、行政への要望など様々な問題や意見を発表。それに対し、同じ境遇の親たちなどから、発表内容への質問や意見が活発に交わされました。そしてコメンテーターとして出席している大学教授達が、まとめ・とらえ方・考え方の方向付けをするという形で進められました。発表者の多くが、重度の

自閉症をかかえる親たちで、保護者や施設そして職員達の悪戦苦闘を聞くと思に付まされる内容ばかりでした。

全施連 由岐理事長より七つの情勢報告がありました。各項目について意見(憤り?)がありましたので列記します。

一、障害者総合支援法改正の動き

「障害者福祉サービスのあり方などについて」検討が進められているが、著名人の考え方だけで報告書がまとめられている。

本来なら、障害者を持つ保護者からの、意見を求められてよいはずが、全く全施連へのヒヤリングもない。

二、社会福祉法人制度改革(割愛)

三、六十五歳問題

障害を持つ人が、六十五歳になると障害者福祉制度から外され、介護保険の対象に切り替えられます。現在、入所者は当分の間は継続されるが、在宅の通所者は介護保険にのっとり、速やかに手続きをするよう、行政から言ってきている。

四、三カ月問題

利用者が医療機関に入院し、三カ月以内に退院できない、退院できない見込みがない場合、契約の終了という事項がある。

三、四項については、障害者の「終の住処」をもとめ、それがどこにあるか、どうすれば実現できるのかと、われわれが常日頃心配し考えているなかで、大きな問題である。

五、配置医師問題(割愛)

六、成年後見制度

全く普及していないので、行政は法改正し促進法案を考えている。知的障害者にとっては、欠陥だらけの法律である。知的障害者の特性が全く考慮されてなく、後見人は財産管理が主であり、人権尊重に重きが置かれていない。また、後見人が知的障害者への理解がない弁護士・税理士・司法書士が多い、それも問題。そういった専門後見人に障害者が支払う報酬の負担能力が現在ありません。たとえば、障害年金月額 八万円、そこから毎月報酬額二万円を支払えば、利用者はどうやって生活する

のか。

しかし、いずれこの制度を推進せよと、国から強い圧力がかけられると思われる。

七、虐待防止法

施行されて三年、一向になくならない。さらに、法を改正して強化を推し進めようとしている。いくら法律を作っても、差別意識が根底にあるかぎり、法律や制度で防止することはできない。

研修会③ 参加報告

千葉県知施連支部長会議
障害者の高齢化問題

平成二十七年十二月六日

千葉県の入所施設の家族会が一同に会し、障害者の高齢化対応の問題に関してグループ討議を実施した。しいのみ園保護者会からは、大松、仙波が参加した。テーマは①利用者にとって最適の場は②施設・職員への要望。熱心な討議が交わされた。障害者施設で最後の看取りができるまでの高齢化対応策が必要であり、そのためには職員のレベルアップや介護福祉士等資格取得の推進など、高齢化対応策はこれからの大きな課題であることの共通認識が得られた。(報告 仙波)

保護者ボランティア しいのみ園行事参加報告



春だ！桜満開のさくら公園に利用者の笑顔こぼれる（こころの皆さん）



みんなで楽しく、この味グー！



じゃがバターがとってもおいしかった

お花見会(4月6～8)

バーベキュー大会(5月31)

じゃがいも収穫祭



保護者ボラ大集合 バザー販売で大活躍



今年は太鼓チームの登場で勇ましく



植草学園のチアリーダーの皆さんと楽しく



ほら！こんなに大きな「紅はるか」が

夏祭り&バザー(8月9日)

さつまいも掘り大会(10月23日)



6月8,9日 ほんだ



9月10,11 日室内活動班



10月15,16 日林産・農耕班
シャボテン公園(伊豆熱川)にて



職員・お母様も裏方で大活躍

利用者一泊旅行(3グループ)

もちつき大会
(12月26日)

◆保護者会会員の皆様、あけましておめでとうございます。新年号をお届けします。

◆新年に贈る「しいのみ園のびっくりポン!」。「地域支援と国際交流」。二つの特集、じっくりお読み下さい。

◆地域支援一先日職員の募集が保護者会にも要請されました。「経験的にも人的にも保護者の皆さんの絶大な支援」が求められています。

◆国際交流一皆さん日本語べらべらです。積極的に声をかけていただいで激励して下さい。保護者会も国際化対応を求められています。(仙波)

編集後記

山川健児さん(短期入所・生活介護)
平成七年六月二十一日生まれ
平成二十七年四月市立養護学校
高等部卒業後しいのみ園入園
好きなこと…車大好き

二十八年新成人紹介

さんのお母様川上トシ様が平成二十七年九月に逝去されました
ご冥福をお祈り申し上げます

短期入所の川上哲也

会員訃報